

かざま うら

議会だより



SS（サービスステーション）過疎地域先例地視察（宮城県七ヶ宿町）

No. **121**

令和7年7月発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2111
FAX 0175-35-2403

目次

- 定例会・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 各種委員会・全員協議会・・・・ P 4
 - 全員協議会
 - 役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会
 - 議会運営委員会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- 議会活動・・・・・・・・・・・・・・ P10
- ちょっと一言・編集後記・・・・ P12



富岡 宏 村長



能登 勝彦 議長

会期：令和7年6月11日から13日までの3日間

案件：報告事項2件、人事案件1件、専決処分2件、契約の締結1件、損害賠償2件、補正予算2件

結果：全議案を承認及び可決。

6月定例会

報告事項

令和6年度風間浦村一般会計継続費繰越計算書について

・役場庁舎等建設事業及び消防庁舎等建設事業の翌年度への繰越額が確定したため報告

令和6年度風間浦村一般会計繰越明許費繰越計算書について

・避難者生活環境確保等事業及び定額減税補足給付金給付事業の翌年度への繰越額が確定したため報告

専決処分

承認

条例一部改正

①風間浦村税条例の一部を改正する条例

・地方税法等の改正に伴い、個人住民税の特定親族特別控除の創設、軽自動車税の種別割の標準税率に係る二輪車の車両区分の見直し、その他税負担軽減措置等の整理合理化及び加熱式たばこに係る課税方式の見直し等の改正。

②風間浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

・国民健康保険税の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額の引上げ等の改正。

③風間浦村半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

・特別措置の期間を令和17年3月31日まで延長するための改正。

補正予算

①令和6年度一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算に4,538万9千円を追加し、総額をそれぞれ37億4,852万2千円とする。

歳入の主なもの

・森林環境譲与税

125万4千円の追加

・特別交付税

7,305万8千円の追加

・民生費受託事業収入

627万円の追加

・財政調整基金繰入金

1,320万円の減額

・役場庁舎等建設事業債

600万円の減額

歳出の主なもの

・財政調整基金積立金

1億2,680万円の追加

・森林環境基金積立金

125万4千円の追加

②令和6年度簡易水道事業会計補正予算

・易国間、桑畑地区水道メーター取替工事請負費

234万2千円の減額

・水道メーター購入費

345万1千円の減額

人事可決

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

任期満了となる現任の中津朝子氏を引き続き推薦するため意見を求めるもの。

契約の締結可決

新役場消防庁舎線道路整備工事について

請負契約を締結するため議会の議決を求めるもの。

契約金額…1億989万円（税込）

損害賠償可決

損害賠償の額を定めることについて

下風呂温泉海峡の湯の浴室内における転倒事故に係る治療費用について、相手方への損害賠償の額を定めるためのもの。

地域情報通信施設破損事故に係る損害賠償の和解について

役場庁舎等整備事業造成工事の作業中、誤ってテレビ共同受信施設を破損させたものであり、破損部分の修繕費用を相手方が負担することについて和解するもの。

補正予算可決

令和7年度一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算に3,531万1千円を追加し、総額をそれぞれ48億7,525万円とする。

歳入の主なもの

- ・地方創生臨時交付金
1,607万1千円の追加
- ・財政調整基金繰入金
950万円の追加

- ・全国瞬時警報システム新型受信機整備事業債
590万円の計上

歳出の主なもの

- ・村民支援商品券事業補助金
1,372万8千円の計上
- ・全国瞬時警報システム新型受信機更新整備業務委託料
627万円の計上

- ・公用車の車載用テレビNHK放送受信料未契約17台分
193万6千円の計上

- ・未来へ繋ぐ海の担い手育成事業助成金
30万円の計上
- ・特定空き家除却補助金
150万円の計上

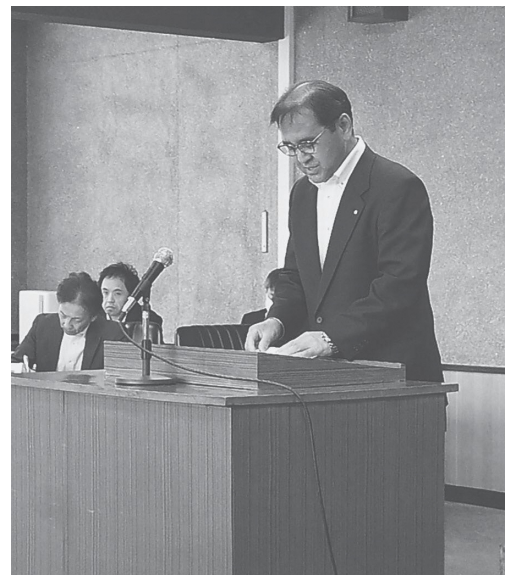
令和7年度風間浦村簡易水道事業会計補正予算

- ・職員人件費
68万3千円の追加

6月定例会



定例会の様子



答弁をする富岡村長

全員協議会

4月24日開催

(欠席議員なし)



能登 勝彦 議長

協議案件

1. 風間浦村職員採用計画について

令和8年度の職員新規採用者計画数は、大卒程度2名、高卒程度1名、保健師1名の予定。採用試験については、青森県町村会が行う令和7年度町村職員採用試験実施要綱に基づく統一試験で実施する。

問 現在、村外から通勤している職員数は。

答 再任用職員も含め、10名。

問 災害時の対応は。

答 各居住している地区の職員も含め、その中で各避難所の班を割り当てしている。村外の職員については、災害の状況によって、大間地区の者は蛇浦の避難所、むつ地区の者は下風呂または桑畑の避難所などと割り振りを決めている。

2. 村内ガソリンスタンドの閉店に係る対応について

村内唯一のガソリンスタンド事業所が5月31日に閉店することとなり、村ではスタンド閉店後において村民への支障を最小限にとどめるため、東北経済産業局職員に來村して

ただき説明を受け、庁議等での検討が行われた。

ガソリンスタンド

は、村内に必要であるということ場で役場庁内では意見集約しており、運営方法については、A案「民間事業者間での譲渡」、B案村が施設の譲渡を受け、民間に事業を運営させる「公設民営化方式」。C案村が民間と会社を設立し、施設の譲渡を受け、事業を運営する「第3セクター方式」の3案が考えられる。先例地の情報収集のほか、視察の実施も検討していることを説明。

問 民間事業者間での譲渡の場合は無償か。

答 民間の場合は有償。

問 閉店した原因は。

答 後継者不足が一番大きな要因。

1. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業計画概要について

No.	事業名	総事業費 (単位：千円)	うち交付金充当額 (単位：千円)	事業概要
1	村民支援商品券配布事業	14,428	13,971	商品券の配布 (村民一人あたり8千円分 9月以降配布)
2	省エネ家電等購入促進事業補助金	1,000	1,000	エネルギー性能の高いエアコン等を購入、設置した際の費用の一部を補助
3	ゆかい村入学お祝い金助成事業	1,100	1,100	新入学児童生徒(小、中、高等学校等)1人当たり5万円を保護者へ助成

6月4日開催

(欠席委員なし)

問 省エネ家電等購入促進事業補助金の今年度の申請件数と補助金額は。

答 5月末現在で10件、34万円。

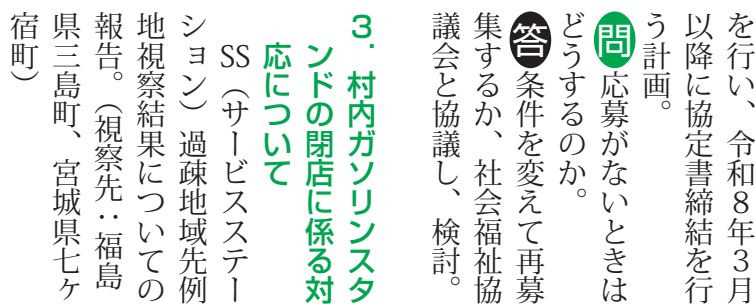
問 ゆかい村入学お祝い金助成事業は恒久的に行うのか。

答 恒久的に実施。

2. 「風間浦村総合福祉センターげんきかん」活用事業者募集要項について

新庁舎移転後、空き施設となる「げんきかん」を活用し、村民の福祉事業の確保・拡大へつながる事業計画をもつ民間事業者を募集する。事業提案の条件としては、デイサービス、配食見守りサービス、高齢者等の小規模の入所施設の開設を最低条件とする等。

今後は、現地見学会、事業提案書の受付、プレゼンテーションなど



委員会報告

休業となる期間を極力短くできるように、下北地域連携事務所及び青森県石油商業協同組合とも連携し、スピード感を持って対応する。

答 現在のところは運転資金を出すということは考えていない。赤字で閉店するわけではなく、充分経営ができている状態であるため。ただし大規模改修等になれば、ある程度は村も負担しなければならぬ。5年程度は大規模改修をしなくてよい。様々な計器類等については、募集するまでの間に精査する。

大間町学校給食センター（仮称）は令和9年度に供用開始、給食提供予定。

施設は大間町のみで建設をするのか。

答 施設建設は大間町が全額負担、配送車も大間町のものを利用可能。

役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会

5月16日開催

(欠席委員なし)



杉山 太 委員長

○現場視察

初めに庁舎建設地の視察を行い、請負業者より説明を受けた。

○役場庁舎等建設工事の進捗状況について

- ・契約額は16億3,350万円、令和6年度末現在の出来高は1億2,540万円、進捗率は7.6%
- ・役場庁舎は鉄筋約103t、鉄骨主要部材約270tを調達し、鉄骨工事業者に搬入済み。

- ・車庫兼書庫は、基礎の根切(掘削)が完了、基礎下の碎石敷・捨てコンの打設が完了。鉄筋工事は、基礎配筋が完了。

- ・車庫兼防災備蓄倉庫は基礎下の碎石敷・捨てコンの打設が完了。

- ・外構工事は、敷地造成工として路盤掘削工及び残土処理、下層路盤工を施工。

- ・泥水対策として、現場内に沈殿池やろ過タンク、排水ポンプを設置等の仮設工事を行った。

- ・庁舎等建設工事の全体の進捗率は、4月末の時点で11.9%、本日現在(5月16日)15%と、ほ

○消防庁舎等建設工事の進捗状況について

- ・契約額は8億4,810万円、令和6年度末現在の出来高は4,656万円、進捗率は5.49%

- ・消防庁舎は基礎部分の根切(掘削)が完了。基礎下のラップルコンクリート、捨てコンの打設が完了。
- ・防災倉庫は3月末時点では着手していない。



建設地の様子

- ・外構は、L型擁壁の設置完了。排水設備の一部設置。下層路盤の施工。

- ・消防庁舎等全体の進捗率は、4月末時点

で9.5%、ほぼ計画通り工事は進んでいる。

議会運営委員会

5月30日開催

(欠席委員なし)



中嶋 茂 委員長

限までに4名の通告があり、全て受理。

議事日程は、開会初日は会期の決定、村長提案理由の説明、各委員長報告、議案等の審議、一般質問までを行い散会。

12日を休会とし、午後には大間原子力発電所対策特別委員会を開催。

☆定例会

提出となる案件等を勘案した結果、会期は、11日から13日までの3日間。

一般質問は、通告期

☆議案等の審議は

報告事項及び議案と

もすべて、本会議において審議する。

☆人事案件の表決方法

無記名投票。

☆議会運営に係る課題

の検討、協議事項

タブレット端末の議会への導入等を検討する委員会の設置について、今後協議事項としていくこととした。

☆諮問

受理された陳情について審議した結果、今後の動向を注視し、資料配付とした。

陳情名「日本政府に核兵器禁止条例の調印・批准・参加を求める意見書提出の陳情書」

☆その他

夏季の軽装について、6月1日から10月31日までの間に、開催される本会議並びに各委員会においては、ネクタイ及び上衣の着用を自由とした。

大間原子力発電所対策特別委員会

6月12日開催

(欠席委員なし)



北館 智明 委員長

電源開発(株)から

電源開発(株)大間原子力建設所より、石合所長他5名が出席し、「新規制基準適合性審査の対応状況について」、



石合所長の挨拶

「建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について」並びに「その他」の説明及び報告。

○新規制基準適合性審査の対応状況について

て

大間崎付近の隆起を考慮して想定する地震の地震動評価結果説明等を行い、原子力規制委員会の理解が得られ、基準地震動について確定したこと、施設・設備・船舶等の情報収集をする「津波漂流物に係る調査」の実施、今後、災害対策支援拠点の整備を行うため、風間浦村他の土地を取得する協議を行うことなどの説明。

○建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

住民の訴訟は、第14回口頭弁論期日が5月29日に開催され、原告が準備書面等を提出。次回は9月30日を予定

定。函館市の訴訟は第34回口頭弁論期日が9月2日に予定されている。

○その他

蛇浦地区の宿舍建替え・増築に伴う拡張整備、社宅整備の進捗状況について「宿舍の建替え工事を今より開始する。」等の報告。

委員からの質疑

災害対策支援拠点で土地を取得とあるが、どのようなものか。

電源開発(株)から

施設を建設するのではなく、平坦な土地であり、物資等の中継地点となるところ。

○その他

委員から「大間原発三ヶ町村協議会で、オフサイトセンターの場所の選定についてを加えることを委員長から発言していただきたい

い。」と要望があった。富岡村長は「オフサイトセンターの場所を県ではつきりと示すことが出来ないのだけれど、こちらから要望していけばよい、風間浦バイパスの早期着工、着手の呼び水になって欲しいと思っている。」と発言。

◆オフサイトセンター

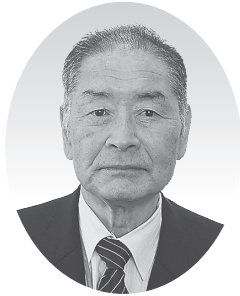
原子力災害発生時には、国の行政機関、地方自治体などの関係機関や専門家など、関係者が一体となつて応急対策を実施する必要があります。そのためには、関係者が一堂に会して、情報を共有し、指揮の調整を図る必要があります。こうした原子力災害時における拠点となる施設がオフサイトセンター（正式名称：緊急事態応急対策拠点施設）です。

村政を問う！ 一般質問

一般質問とは、定例会において、議員が、あらかじめ通告して、村の施策の状況や方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においては、一般質問者の持ち時間は1時間に制限されています。

今期定例会では、4名の議員が登壇しました。



金森 一規 議員

- ①現役場・消防庁舎の解体費用、跡地利用及び新庁舎への交通アクセスについて
- ②下風呂・桑畑・蛇浦公民館及び甲集会所の今後について

A

村長

現在のコミュニティバスのルート変更や、小型車両への更新など、委託事業者である下北交通と協議を進めている。管理職を中心に課題に取り組んでいるので、早い段階で皆さんにお知らせしたい。

Q

新庁舎への交通アクセスは。

A

村長

自治会関係者と総務課で情報交換は行っている。地域の方々からは、小さな公園が欲しいなどの要望が寄せられている。整備の財源を確保するため、関係機関と手続を進めており、目処がつき次第、易国間自治会と協議したい。

Q

跡地については「易国間自治会と協議を進める。」としているが、協議状況は。

A

村長

役場庁舎、消防庁舎、中央公民館合わせて解体工事に係る概算事業費は約2億円を見込んでいる。財源は、公共施設の解体費用として積み立てしている基金の繰入と国庫補助金等を充当する計画。

Q

庁舎移転後の現役場・消防庁舎の解体費用の財源は何を充てるのか。

A

村長

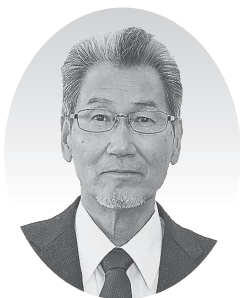
村内の公共施設は、公民館の他に各消防屯所の老朽化も著しく、改修の要望が寄せられている。公民館は規模を縮小しコミュニティセンターとして整備、消防屯所を併設するなどの複合化を図ることが必要。まずは、事業費に充当できる補助事業を模索し、新庁舎開庁後、計画的に整備を進める。

Q

下風呂・桑畑・蛇浦公民館及び甲集会所の補修・解体・移転等は。



下風呂公民館



越膳 喜好 議員

旧青い森信用金庫建屋の利用方法



旧青い森信用金庫建屋

A

村長

旧青い森信用金庫建屋については、1階にトイレが整備されていない、駐車場が狭いなど、集会施設として利用するためには相当大規模な改修が必要であるという状況となっている。利用方法について、どのようなものが可能であるか、現在、庁内で検討を進めている。総合福祉センターげんきかんの利用に係る事業者募集の状況も見極めながら、村内外の企業への貸出や売却なども含め、広く利用方法を決定したいと考えている。

Q

役場庁舎移転後の旧青い森信用金庫建屋の利用方法は。



北舘 智明 議員

村道、国道等の側溝清掃について

A

村長

道路施設の側溝は従来、雨水対策として設けられているが、家庭からの生活排水施設としても利用されている。側溝清掃は、以前、各町内会で協力しながら行っていたが、住民の高齢化等により作業をするための労力を確保できなくなり、現在ではほとんど実施されていない。国道279号の側溝清掃については、車両の通行量が多く、安全対策に充分配慮する必要があるほか、側溝の蓋が重く、容易に蓋をあげられないなどのことから、自治会や町内会に任せるのではなく、行政としても対応が必要である。まずは国道の管理者である、下北県土整備事務所へ要望をする。村道については、令和4年に集水桝に溜まった土砂を村で撤去した事例もあるので、現状を注視しながら定期的な調査を行い、必要に応じて、対応していきたいと考えている。臭いや虫の対策としては薬剤散布を行うなど、その状況を確認しながら、随時対応する。

Q

側溝清掃ができない町内会があり、その結果、側溝が臭ったり、虫が発生したりしている。高齢の方々より「どうにかならないものか。助けて欲しい。」との声が聞こえてきている。このような現状に対し、村では、どのような手助けが出来るのか。



中嶋 茂 議員

今後の風間浦村財政運営について

A

村長

人口が減少した場合でも交付額への影響はすぐには発生しない。数値急減補正という5年間程度で徐々に減らしていくという措置があり一気には減らない。地方交付税の国の予算総額が大きく減らない限り、極端な当村への影響は少ないと見込んでいる。

Q

人口減少により地方交付税の減額が予想される中、対応策は考えているのか。

A

村長

令和9年度で小学校とグラウンドの償還が終わり、令和10年度からの償還額は約9千万円に減少。令和12年度から庁舎分の元金の償還が始まり、令和15年度までの償還額が約1億円から約1億3千万円。令和15年度で下風呂温泉の償還が終了し、令和16年度からは新庁舎等分のみで約9千万円の償還額となる。

Q

起債の償還計画は。

A

村長

当村のここ数年の大規模建設事業は風間浦小学校の建設、多目的グラウンドの整備、下風呂温泉施設の整備、現在進めている新役場消防庁舎等の事業であり、令和7年度から令和9年度が償還のピークと想定している。これらの事業を合わせた償還額は令和7年度が約1億8千万円、令和8年度が約1億9千万円、令和9年度が約1億7千万円。

Q

今現在の事業費の財源として借入する起債の償還ピークは。

一般質問
議会活動

SS（サービスステーション） 過疎地域先例地視察

村内ガソリンスタンドの閉店を受け、今後の対応策を検討するため、5月13日～14日に行政・議会合同でSS過疎地域先例地である福島県三島町と宮城県七ヶ宿町を視察しました。

三島町では、町が施設を無償譲渡で取得し、第3セクターが運営。町民や町内への通勤者には5円引きを実施し、その分を町が補助しています。

七ヶ宿町では、施設の財産取得を表明し寄付採納を受け、取得後、町が町内の自動車整備工場に無償貸与。最終的に第3セクターが指定管理者となり、民間企業と委託契約を結んで運営しています。

両町の取り組みは、燃料供給体制の維持に向けた参考事例となりました。

※SS過疎地域：ガソリンスタンド（サービスステーション）の数が少ない、または全く無



福島県三島町長から説明を受ける村長、議員、職員

い場所を指す名称
※第3セクター：国や地方自治体を「第一セクター」、民間企業を「第二セクター」、それぞれが共同出資する事業主体が「第三セクター」。

町村議会広報研修会に参加

青森県町村議会議長会主催の「町村議会広報研修会」が、5月21日（水）、青森県労働福祉会館で開催され、当議会広報編集委員5名が参加しました。

研修会では、「議会の「見える化」と住民との「信頼」築く——議会広報の基本と編集——」と題し、議会広報サポーター 芳野正明氏の講演が行われました。

研修会で学んだことを少しでも「かざまうら議会だより」の編集に役立てていきます。



研修中の委員

令和7年度 町村議会 議長・副議長 研修会

5月27日、東京国際フォーラムにおいて、全国約2,000名の町村議会議長・副議長等が参加し、令和7年度町村議会議長・副議長研修会が開催されました。

研修会では「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」と題した内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援）松本真太郎氏の講演などが開催されました。



○議会を傍聴しませんか。

議会の傍聴を希望する方は、議会開会当日、役場総務課で、住所及び氏名を申し出て、傍聴人受付簿に記入を行ってください。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

○会議録の閲覧

一般質問のQ&Aを詳しくご覧になりたい方は、議会事務局で会議録の閲覧が可能となっております。

閲覧希望の方は、議会事務局までお問合せ下さい。

役場内議会事務局
（電話）

3512111



ちよつと一言

村内唯一のガソリンスタンド閉店



お疲れさまでした!!

5月31日（土）、風間浦村唯一のガソリンスタンドが、後継者不足などの理由により営業を終了いたしました。

議会では村とともに、公設民営方式を導入した福島県三島町や宮城県七ヶ宿町を5月に視察し、対応策を協議した結果、「公設民営方式」で営業を再開する方針となりました。

事業再開時期は、「10月」を目指しております。
（文：北館智明）



福島県三島町での視察



宮城県七ヶ宿町での視察

ちよつと一言
編集後記

編集後記



議会広報編集委員会
委員長 越膳 喜好
副委員長 杉山 太
委員 中嶋 茂
" 北館 智明
" 蛸島 巨

（文・蛸嶋巨）

夏の気配を色濃く感じる今日この頃、村民の皆様いかがお過ごしでしょうか？
今年の夏も昨年同様暑い夏になるようです。しっかりと水分補給をし、睡眠もしっかりとって暑い夏を乗り切りましょう。